

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ライオン		公表日		2025年 3月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		十分なスペースを確保しています。活動内容に応じて場の構造化を行うなど工夫をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		配置基準以上の職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		活動に合わせて場を構造化したり、子どもに指示をする際は、シンプルな背景を選ぶなど子どもの特性に応じた環境を整えています。こどものロッカーの場所を決めたり、マークを用いる等工夫しています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の掃除に加えて、季節ごとや大掃除をする機会を持っています。破損個所は業者に相談して環境の改善に努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別活動やパニック、落ち着く時間をとる、等必要に応じて大人と一緒に個別の部屋や空間に移動することが出来ます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		日々の打ち合わせ、振り返りを行うことで、業務の改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に一回、保護者向けアンケートを個別で行うことで、保護者からの意見・意向を聞きとっています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		パート職員も参加出来る毎週のクラス会議に加えて、日々の振り返りの中で業務改善に努めています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者評価は行っていません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		毎週の朝研修や年代別研修、部門別研修、外部研修に加えて、年に一回パート職員も含めて参加する法人研修も行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムを作成しました。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		クラスで子どもの様子を共有し、アセスメントを行いました。療育、面談を通して子ども・保護者のニーズを汲み取りました。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画作成会議を行い、クラス職員が共通の理解を持ったうえで支援を行いました。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別支援計画に基づく支援計画をクラス会議などを通して、情報共有を行い、支援をチームで行いました。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		発達段階を踏まえた上でのアセスメント、モニタリングを行いました。クラス職員で、情報共有を行うことで確認をしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		本人支援、家族支援、移行支援を柱として、五領域に応じた個別支援計画を作成し、支援を行いました。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		クラス会議等で、活動プログラムの立案を行いました。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		季節の遊び(泥遊び、水遊び、山登り、散歩、雪遊び等)や季節の制作、天候に合わせた活動や発達に合わせた活動を立案しました。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個々の特性を踏まえた上で、個別活動と集団活動を取り入れられるように支援計画を作成しました。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		日々の打ち合わせを行いました。日々の打ち合わせに加えて、週や月単位での計画を行いました。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		日々の振り返りを行いました。振り返りで気付いた点や改善すべき点は翌日以降の支援に繋がるように共有しました。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎日の記録をとることで、子どもの様子や支援者の関わり方など業務の改善に努めました。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		半期に一度モニタリングを行うことで、支援内容を見直し、改善に努めています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて、担当者会議に参加しました。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		むぎのご発達クリニックと必要に応じて連携しました。保育園や他の児童発達支援事業、児童相談所と、電話連絡等も含めて関係機関と連携する機会を持ちました。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		併行利用のおこさんの保育園や幼稚園と必要に応じて電話連絡や訪問を行いました。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		就学のおこさんはいませんでした。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>		児童発達支援センターと連携を図り、情報の共有やS.V、研修に参加する機会がありました。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	<input type="radio"/>		法人内の保育園と年齢を超えて、園庭等で関わる機会がありました。また地域の公園で場を共有する機会がありました。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		月に1回程度の面談に加えて、送迎時や母子通園時、また電話やメールなども含めて話す機会を持つ事で共通理解を持ちました。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		毎週のグループカウンセリングや月に1回のグループスタディ等おたよりや電話、メールなどをういて情報提供を行いました。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		利用契約時に、丁寧な説明を意識しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		こどもの最善の利益を最優先して、個別支援計画を作成しました。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		保護者と個別支援計画と一緒に見ながら説明を行い、同意を得ました。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		月に一回程度の面談や、電話連絡等を行い、助言と援助を行いました。	おこさんの体調不良や、保護者の就労により、面談の機会が少なくなってしまう家庭もあったので、相談援助も含めた電話連絡等も定期的に行っています。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		父母の会の活動を支援し、必要に応じて職員も一緒に参加しました。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		面談や電話連絡などで相談や申し入れにたいして、情報共有し、対応を行いました。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		毎月のクラスだより等の発行や行事の際にはHPを用いて活動の様子を掲載しました。がくぶりをういてきめ細やかな発信を行いました。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		個人情報鍵付きのロッカーに書類を整備しました。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		言葉の指示だけでは難し子どもには、視覚的に理解できるように絵カードを用いたり、個別に関わるなど配慮を行いました。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>		今年度は、バザーなどの行事は行っていませんが、雪かきや掃除など地域への貢献を務めました。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		マニュアルを策定し、マニュアルに基づいた避難訓練等を行いました。避難訓練には保護者も参加する事が出来ました。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		月に1回避難訓練を行いました。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		クラス職員で、アレルギーのあるお子さんやてんかん、特定疾患など、服薬管理が必要なお子さんに対して周知徹底しました。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>		給食室と連携し、医師の指示書に基づいたアレルギー食の提供を行いました。また、エビペンや粉薬などの服薬管理の対応マニュアルを策定しました。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		安全計画に基づく各種マニュアルを策定し、訓練を行いました。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		避難訓練を行っていることを発信しました。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		ヒヤリハットは事業所内で共有し業務改善に努めました。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		週に一回のアンカーマネジメントの練習に加え、虐待防止に関する研修に参加しました。また、アンカーマネジメントに基づいた、個々の落ち着きプランの作成を行いました。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		身体拘束の三原則を周知徹底し、必要な場合は必ず個別支援計画に記載を行いました。		